あるってみんべ小来川

11月18日(日)に小来川地区で、ウオーキングイベント「歩ってみんべ小来川」が開催されました。これは小来川地域活性実行委員会が主催した、にぎわいづくりのイベントで、地元の中学生なども運営に加わりました。

晴天に恵まれたこの日、小来川の名所などを巡る2つのコースに、200名以上が参加。紅葉や景色を楽しみながら思い思いのペースで歩きました。また昼食には、地元産のそば粉を使った、打ちたてゆでたてのそばが振る舞われました。

小来川は初めて、という内海さん(宇都宮市)は、「知人の紹介でイベントを知りました。川の水が透明できれいなので驚きました。紅葉もきれいですね」と話してくれました。

女性サポートセンターまつり

11月17日(土)・18日(日)に、女性サポートセンターと清滝体育館で、女性サポートセンターまつり２０１２が開催されました。

17日には、バランスボール、ヨガなどの講座体験が行われました。

また、市内有名レストランシェフによるカレーライスのワンコイン(500円)チャリティーランチも行われ、カレーを食べた北村さん(平ケ崎)は、「プロのカレールーと柔らかいお肉が、とてもおいしかったです」と話してくれました。

市政・教育功労等表彰式

11月23日(金・祝)に、今市文化会館で平成24年度の市政・教育功労等表彰式を開催しました。

市民栄誉賞表彰では、スポーツの分野で顕著な功績を挙げた３名を表彰、地方自治や社会福祉などの各分野で市政に功労のあった市政功労表彰では、166名の表彰を行いました。

また、善行表彰として、市に寄付などを行った6名・3団体への感謝状・表彰状の贈呈、国の各省大臣表彰を受賞された5名・6団体への賀状の贈呈を行いました。

教育功労者等表彰では、各種委員などで教育行政に功労のあった12名・3団体の表彰、国や県の各機関から教育功労者として表彰を受けた方、および国の機関から教育的研究や文化活動などにおいて、優秀な成績を収めた47人・18団体への賀状の贈呈、また、模範児童・模範生徒72名の表彰を行いました。

２０１２日光そばまつり

11月23日(金・祝)～26日(月)に、日光だいや川公園を主会場に、日光そばまつり２０１２が開催されました。

市内外のそば店が多数出店した会場は、曇り空の初日から、そばを食べ比べようという大勢の観光客でにぎわいました。

また、イベント会場では、観光大使の書道家・涼風花さんによる書道パフォーマンスや杉並木太鼓の演奏の他、さまざまな催しが連日行われ盛り上がりました。

家族で会場を訪れた深谷さん(宇都宮市)は、「そばまつりに来るのは3回目です。おいしいそばが食べられて満足です」と笑顔を見せてくれました。二人の兄弟、京蔵くんと孝蔵くんも、元気良くそばをすすりながら、秋の一日を満喫していました。

なお別会場では、素人そば打ちの段位認定大会も開催されました。

わたらせ渓谷鐵道 各駅イルミネーション

12月1日(土)から、わたらせ渓谷鐵道の各駅イルミネーションが始まりました。

このイベントは、わたらせ渓谷鐵道が毎年開催しているもので、今回で9回目となります。それぞれの駅ごとに趣の異なるライトアップは、2月28日(木)まで開催されており、期間中はイルミネーションを見るための特別列車も運行されています。

安全で安心なまちづくり推進市民大会

12月2日(日)、今市文化会館で、日光市民の安全で安心なまちづくり推進市民大会を開催しました。

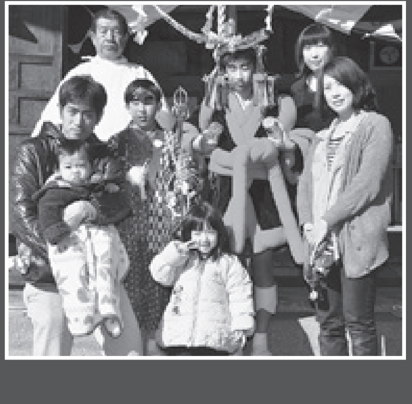
大会では、立谷秀清相馬市長による「震災対応から生活再建へ」と題した基調講演や、「安全で安心なまちづくり」に関するパネルディスカッションを行いました。

また大会前に、相馬市と「災害時等における相互応援に関する協定」を締結し、協力体制を築きました。

今月の表紙

子供強飯式

11月25日(日)、七里の生岡神社で、市の無形文化財に指定されている子供強飯式が開催されました。地元の少年が山伏と強力に扮し、強飯頂戴人の前で口上を述べました。強力が激しく足を踏み鳴らしながら「一粒でも残してはならん」と頂戴人を責め立てると、集まった観客からは大きな拍手が沸き起こりました。

今年の山伏と強力の役は、野口小学校6年生の、加藤廉くんと上野航輝くん。山伏役の加藤くんは、「最初は緊張したけれど、演じているうちに慣れ、失敗せずにできました」。強力役の上野くんは、「2週間練習し、全力を出し切れました。最後の決め台詞が重要なので、特に頑張りました」と、それぞれ輝いた表情で話してくれました。

また、この神事は、強飯頂戴人が竹馬を乗り回したり、里芋を食べさせられたりと、非常に面白い内容となっています。